明治初期の外交

欧米との外交

政府は幕末の不平等条約の改正交渉と、欧米視察のため岩倉具視を大使とする岩倉使節団を欧米に派遣した。
（津田梅子ら女子留学生も同行した）

↓

アメリカに相手にされず、交渉は失敗。
しかし、日本の近代化の必要性を痛感して帰国した。

中国・朝鮮との外交

清（中国）との外交

1871（明治4）年、政府は清と相互に対等な地位を認めた条約日清修好条規を結び、清と正式な国交をスタートさせた。

朝鮮との外交

政府は鎖国を続けていた朝鮮とも新たな関係を結ぼうとしたが、朝鮮側がこれを拒否した。

↓ これを受けて日本では、意見が分かれる。

岩倉使節団不参加の留守番組

板垣退助、西郷隆盛ら

武力で開国させたい
＝征韓論

vs

岩倉使節団参加の帰国者組

岩倉具視、大久保利通、木戸孝允ら

外国に進出するより、まず日本国内の充実を優先すべき。